

専門サービス部会長報告

第2回専門サービス部会総会は、11月18日ホール80において18名の出席を得て開催いたしました。

はじめに、懇談として当部会で2年前に講師としてお招きしたNPO法人秋田移住定住総合支援センター 荒谷 紘毅 理事長から「秋田移住の最前線『来る・住む・働く』を創る」と題し、2年前と現在の状況の変化も含めご講演いただきました。

1. 移住に係る現状と課題

- ・登録：965世帯（11/15現在） 移住者：172世帯/368名（累計）
- ・相談件数：21,000件/2015年（2,400件/2008年） Aターンラザ秋田（東京・有楽町）より
- ・2015年移住希望地域ランキング：全国8位 ※前年14位から上昇
〈要因〉・安全・安心（3.11震災時に東北で唯一死者が0）
・小中学生の学力日本一 ・少年犯罪が日本一少ない…など
評価：『秋田県は安心して子育てが出来る！』
- ・移住希望者の7割が20～40代の若い現役世代だが、移住の実現に際して働く（収入を得る）場に不安を感じている。

2. 施策・提案

- ・思い切った子育て支援策 ⇒ 産みやすい・育てやすい環境づくりへの投資！
案）・第1子から保育料無償化 ・第3子へのお祝い金支給 ・医療費無料化 …など
- ・国立大学の地方移転 ⇒ 学生＋教職員＋αの効果！
案）・東京大学農学部が県内誘致
- ・特徴あるCCRC事業の提示 ⇒ 面白いわくわくしたメニューで呼び込む！
案）・釣り好きな人を男鹿市へ
・鉄道マニアを秋田内陸線・由利高原鉄道へ …など具体的な案を挙げられた。

3. 商工団体・商工業者の関わり方

- ・収入を秋田に生み出す仕掛け作り ・伝統工芸職人の後継者を都会から呼び込む
- ・中小（零細）企業を合併させ規模を大きくして事業承継を図ること …などがある

秋田への移住定住の促進を長年支援してきて、「本県の特徴と魅力を活かした思い切った施策が必要であり、地方への移住ニーズが高まる中で、移住希望者のニーズに応え、ニーズを満たすことを行政・商工会議所に期待している」と述べられました。

懇談終了後、「任期満了に伴う正副部会長の選任」について協議し、下記のとおり選任いたしました。

【選任結果】

部会長	福士 文友	(税)福士合同会計事務所	代表社員
副部会長	鈴木 亮	(公社)秋田青年会議所	理事長
	今野 創	(株)ソユー	代表取締役社長
	森川 恒	(株)バウハウス	代表取締役
	船木 寛	(株)ファンキー	代表取締役
	北嶋 正	(株)イヤタカ	代表取締役社長
	岡本 啓一	(株)へいあん秋田	代表取締役
	小畑 悟	(株)友愛ビルサービス	代表取締役社長
	水野 勇気	秋田プロバスケットボールクラブ(株)	代表取締役社長
	内村 和人	大洋ビル管理(株)	代表取締役社長
	杉本 公彦	(株)R B a d v a n c e	代表取締役 (新任)
	伊藤 里花	(有)カールファッションほりい	代表取締役

以上が、専門サービス部会からの報告です。